

板倉町は 豊かな自然と文化を誇る 群馬県東南端のまち

板倉町は、関東平野の中央、埼玉県・栃木県との県境に接し、「鶴舞う形」といわれる群馬県の東南端、都心から60kmに位置する平坦地。北に渡良瀬川、南には利根川が流れ、町の東南で合流しています。群馬県下で最も温暖な地域で、豊富な水と緑に恵まれた県内有数の穀倉地帯です。また、東に広がる約33km²もの広大な渡良瀬遊水地は、ラムサール条約登録湿地として現在も多様な動植物の生息地となっています。さらに、利根川・渡良瀬川合流域は、水と共生する生業の文化が高く評価され、関東初の重要文化的景観に選定されています。



板倉町イメージキャラクター
いたくらん

いたくらんはナマズをモチーフとしたキャラクター。頭には雷電神社をイメージしたカチューシャをつけ、尾びれ背びれは美しい水を表す水色のカラーリング、おなかには板倉町の紋章が輝いています。

人口

男 **6,961**人

女 **6,878**人

計 **13,839**人

(うち外国人 512人)

<令和5年3月1日現在>



世帯数



地勢

位置：海拔**13~25m**
 地質：**沖積層**
 面積：**4,186ha**

気候

平均気温：**15℃**
 平均降雨量：**1,200mm**
 季節風（からっ風）冬：**北西**